

学年	高校3年	教科	数学科	科目	数学演習	単位数	6
主教材名		オーダー問題集（数研出版）		副教材名	サクシート数学Ⅰ+A（数研出版） サクシート数学Ⅱ+B（数研出版）		
コース・クラス		選抜文系					

I. 目標

数学ⅠAⅡBの基本事項を復習，演習し，知識の整理を行うことで，日本大学基礎学力到達度テストの標準化点55を目指す。また，数学の基本的な原理や法則を理解させ，知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を育てる。

II. 授業のねらい

基本事項を確認し，単元ごとに関連した演習を行うことで，各単元同士の関連性や知識を整理するとともに，総合的に問題を解く力を身につける。その時々で問題を解く時間を設定し，日本大学基礎学力到達度テストを想定して取り組ませる。

III. 授業の進め方

1. 問題集を中心とした授業を展開する。基礎学力到達度テストに向けた問題を取り扱う。
2. 定期的に小テストを実施し，定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて，問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 問題集，問題集用ノートを用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後，間違えた問題を確認し，復習を行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

問題集の内容を中心に出题する。

- 1 学期 中間試験 : 数学ⅠA
- 1 学期 期末試験 : 数学ⅡB
- 2 学期 期末試験 : 数学ⅠAⅡB

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【数学Ⅰ】 1章 数と式、 2章 集合と命題	定期試験 小テスト 提出物	- 基本事項を確認し、大学入学共通テスト対策実践問題集を通して、問題の意図を理解できる。 - 共通テスト過去問や模試における、基本問題の解法を幅広く理解することができる。
	5	3章 2次関数 4章 図形と計量 5章 データの分析		
	6	【数学A】 1章 場合の数と確率 2章 図形の性質 3章 整数の性質		
	7	【数学Ⅱ】 1章 式と証明 2章 複素数と方程式 3章 図形と方程式 4章 三角関数 5章 指数関数・対数関数 6章 微分法・積分法		
		【数学B】 1章 数列 2章 確率分布と統計的な推測		
		【数学C】 ベクトル		
	9	基礎学力到達度テスト対策 問題演習	定期試験 小テスト 提出物	- 過去問題を使用して、各々正答率を上げる。過去問題で7割以上得点できる。 (大問1は8割、その他各大問平均6.5割) - 基本事項を確認し、オリジナルテキストを通して問題の意図を理解できる。 - 大学入学共通テストを意識し、時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 - 共通テスト過去問や模試で7割以上得点できる。
	10			
	11			
	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。